



全国一般評議会

闘争情報

No.263

2014. 7. 22

東京都千代田区六番町 1

TEL 03-3263-0441

FAX 03-5210-7422

第23回地方代表者会議開催 2015運動方針草案を確認 —安倍政権の軍事体制強化・労働法制改悪を許さない意思統一はかる—

7月18日、東京・自治労会館において、全国一般評議会第23回地方労組代表者会議を開催した。会議では、一般経過報告等が承認されるとともに、2015年度運動方針草案について、さらに加筆・修正の後に全国一般評議会第10回総会に提案することが確認された。



会議では、まず藤原岩手中小一般労組特別執行委員を議長に選出し議事が進行された。続いて、執行部から、一般経過報告、

2015年度運動方針草案などが提案された。2015年度運動方針草案提案においては、とりわけ、①全国一般と自治労との組織統合に係る諸課題解決への取り組み、②平和と民主主義を守る闘い、③労働法制改悪反対の取り組み、④春闘の取り組み、⑤組織強化・拡大の取り組み、などの一層の強化の必要性について強調された。

出席者からは、各地で闘われている争議の報告や、ブロックとして取り組んだ労働相談活動の報告、また、「情勢認識として、『超格差社会』たる今、その『底辺』にいる人々について、どう認識し対応していくのか、という部分が必要ではないか」、「組織拡大方針について、もっと具体策を示すべき」、「安倍政権の憲法解釈変更による集団的自衛権行使容認の閣議決定等に対して、今こそしっかり闘わないと取り返しのつかない事態になるという点をもっと強調すべき」、「社会保険労務士や弁護士が労使交渉に介入してくる問題について、さらに記述の豊富化をすべき」、「来年4月の統一自治体選挙に係る部分の記述が不十分ではないか」といった意見があった。そして、執行部は、これらを踏まえて加筆・修



正したものを、8月24～25日の第10回総会において2015年度運動方針(案)などの議案として提案していくことが確認された。会議は、最後に、大浦議長の音頭による「団結ガンバロー」三唱で閉会した。